

# 栽培マニュアル ①

作成：R元年8月11日

改定：R元年8月21日

## ① 種子の選定

種子の品名がわかる購入先より仕入

品名・産地が特定できないと販売出来ない。(JAの市場に出荷できない)

(栽培履歴の病害虫消毒剤の記入ができない)

籾サカタのタネ：「エレファントガーリック」 生産地：アメリカ

## ② 種子消毒

ホワイト六片より病害虫には強いが、殺菌処理として植付前に行う。

「トップジンM水和剤」 1000倍液 1時間 どぶ付け (浸漬)

「ベンレート水和剤」 1000倍液 1時間 どぶ付け (浸漬)

「アミスター20フロアブル」 2000倍液

「ダコニール1000」 1000倍液

どぶ付け後 (水分を吸収させ、目出しを早めさせる)、植付。

農事より指導有り

## ③ 土壌分析

植付前に行う。pHの確認

《pH 6.0 ~ 6.5の土壌が最適》

肥料散布前に、土壌採取後分析依頼。

## ④ 圃場の選定

日当たりと水はけの良い畑。耕土が深く、排水良好で保水力のある腐食に富んだ肥沃な粘質壤土が最適。

## ⑤ 元肥

土壌分析に基づき、施肥設計。

NPKのほかに、同量のカルシウム (Ca・石灰) マグネシウム (Mg。苦土) が必要。よって、苦土石灰を投与。ミネラルは、堆肥の施用では (有機物) 不足にてカキガラ石灰を投与して補う。

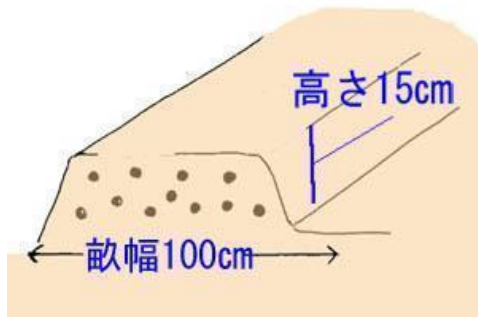
元肥	(10a)	(1m <sup>2</sup> )
堆肥の投入 (有機物)	豚糞： 4t	4Kg
	鶏ふん： 300Kg	0.3Kg
石灰の投入 (中和)		
	苦土石灰： 100Kg	0.1Kg
	かきがら石灰： 60Kg	0.06Kg
化成肥料 (オール12)	60Kg (N分 7.2Kg)	0.06Kg

## ⑥ 耕うん

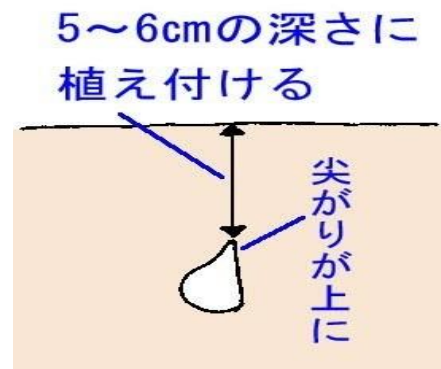
堆肥・石灰の散布後、植付2週間前には行う。(堆肥は完熟)  
(早すぎると、雑草が生える)

## ⑦ 畝立て

植付1週間前に行う。畝立て部分に化成散布後、畝立て。床面を均平にする。  
高さ：15cm 畝幅：マルチに合わせて



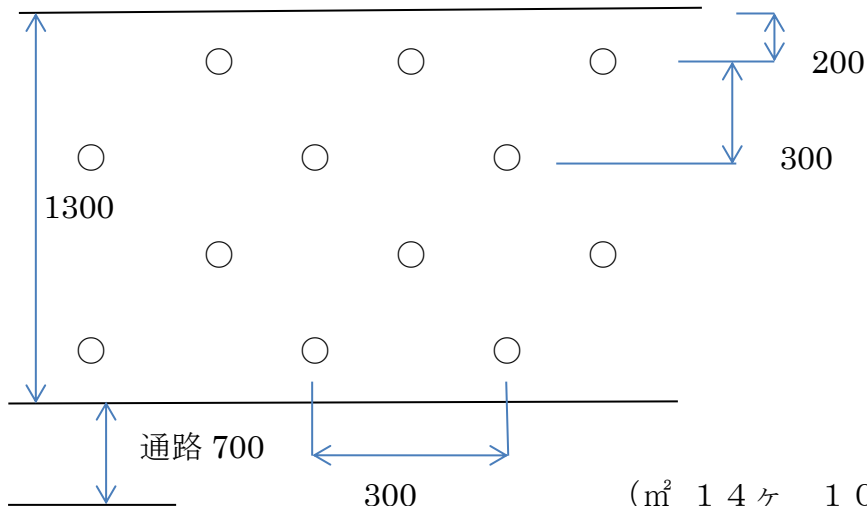
マルチに合わせて 畝幅



最低5cmは覆土

## ⑧ 黒マルチ被覆

幅：1300 300×300 ちどり穴開け済 通路を広く取る



サイズ表：別紙

( $m^2$  14ヶ 10a : 6700ヶ)

## ⑧ 植え付け

株間：30cm 畝間：30cm 上記、マルチにて。 H30年は、10月5日



植付後2週間



3月下旬

### ◎ 追肥（化成肥料）

養分の吸収は、（新芽が出て、冬の間は種球の貯蔵養分に依存する。生育もゆるやかなので吸収量もわずか）春になって気温の上昇とともに茎葉が急速に伸長発育する。養分が最も必要とされる時期である。

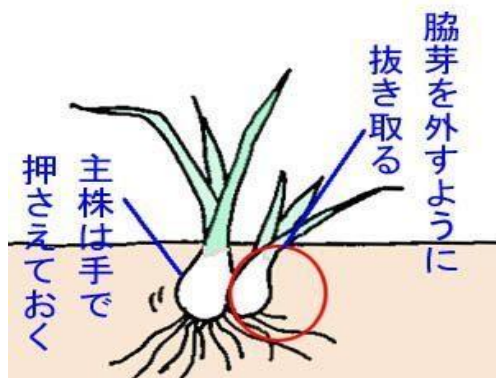
1回目：化成肥料      3月中旬      N成分にて**5** Kg（オール12で 40 Kg）

2回目：      "      4月中旬      N成分にて**5** Kg（オール12で 40 Kg）

（1回／1株 6 g ≒ 半掴み）

### ◎ 芽欠き

1株から2つ以上芽が出た場合、勢いのある芽だけを残し、他の芽を欠き取る。植付後しばらくして、葉が伸びてくると、まれに、土中で分球して芽が出てくる。この時地上部のみ切り取ると、土中に分球したものが残るので、必ず球根から引き抜くようにする。



見つけたら早めに

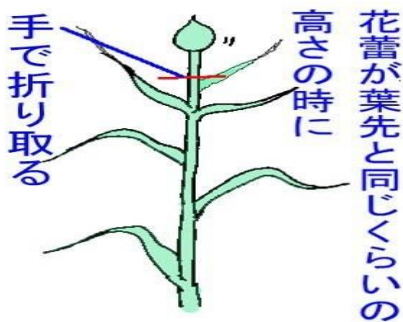


大きく育ちました

## ⑩ 花蕾の除去

花蕾を葉の上まで伸びてきたときに摘み取る。早く摘み取ると玉割れの原因になる。5月ころになるとトウ立ちをして蕾を上げ始めます。花を咲かせると、花に栄養を取られるので、花が咲かないうちに摘み取る。

花蕾があまりに小さいうちに摘むと葉の生長点を傷つけることになる。一番上の葉先と同じくらいの長さに花茎が伸びたら折る。



R元年5月27日摘蕾

## ⑪ 病虫害防除

比較的、病気には強く、害虫もつきにくい。



べと病？



ホワイト六片のさび病

通常は、病虫害防除は必要としない。

## ⑫ 除草

マルチ敷き込みであれば除草作業は必要なし。マルチの間の通路のみ。  
「アクチノール 乳剤」 1000 倍 散布

## ⑬ 収穫

6 月中・下旬。下葉が枯れなくても、何株か、掘り起こして分球していれば収穫に入る。遅れると玉割れする。(玉割れしたものは、翌年の種球として利用、また、種球として肥大させ時期を遅らせて収穫してもよい。  
雨が多く、収穫が遅くなると芯腐れが出やすくなる。



掘り起こし後、2~3日 圃場にて乾燥させる



根切り・茎切り



汚れた表皮を取り除いて乾燥

吊るして乾燥させる場合、汚れた表皮を取り除かないと、後でははがれなくなる。

R元年は、

7月9日に収穫。遅かったので玉割れが80%。

雨が多く1日しか圃場で乾燥できず、腐れ玉が30%発生



⑭ 出荷

専用ネットを使用。能書きとレシピを入れる。

⑮ 種子の確保

良く乾燥させる。